0601042 | **文 学**　　開講日: 令和6年7月16日（火）

歌僧西行とその時代の和歌を読む

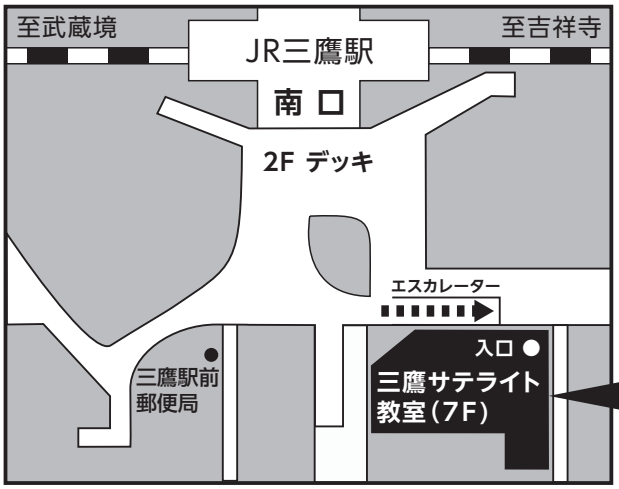
受講料（振込額）	12,500円				
必携テキスト	『西行全歌集』［ 岩波文庫 / 久保田淳 吉野朋美 /2013年12月 / 1,386円 ］				
講座概要	曜　日	火曜日			日　程
	時　間	10:00～11:30			7月16・30日 8月20日 9月3・17日
	回　数	全5回	定　員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室　7F / 大教室			
講　師	元武蔵野女子学院中学・高等学校教諭 上村 正人（かみむら まさと）				
	1938年生まれ。1960年、東京学芸大学乙類国語科(漢文専攻)卒。同年武蔵野女子学院中学高校国語科教諭(古文・漢文・現代文担当)。2003年3月、同上校定年退職。その間、東京学芸大学名誉教授・故安良岡康作氏(中世文学・国語教育専攻)に師事し、日本中世文学を中心に研究。中世文学会、仏教文学会、解釈学会、日本文学協会にも所属してきた。なお、本学生涯学習講座においては、「西行の和歌」「徒然草(抜粋)」「方丈記」「奥の細道」「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」「百人一首」「伊勢物語」「西行の歌と人生」「紀貫之の文学(「土佐日記」「古今集」)」「和歌文学史入門」「十六夜日記」「とはずがたり」「建礼門院右京大夫集」「平家物語」、「源氏物語宇治十帖」「万葉集」をとりあげてきています。			
内　容	西行（1118～1190）は、平安時代末期を代表する歌人で、僧侶として、また歌人としても多くの伝説に包まれて、日本人に愛されてきました。その実像と、伝説に包まれた虚像とをはっきり分けて、その歌の文学的意味や特質をはっきりさせ、どうして伝説化した虚像が生まれたのかも考えてゆこうと思います。まず、その数多くの和歌作品を味わうところから始めます。 〔持ち物〕毎回のプリント類（順番に綴じておくか、ファイルしておいて下さい）古語辞典（あればで結構です。）				
	①7月16日: 西行の最初の東北行脚。 ②7月30日: 西行の晩年の二度目の東北行脚。 ③8月20日: 故崇徳院の遺跡探訪の四国行脚。 ④9月　3日: 旅の歌人としての作品より。 ⑤9月17日: 高野山時代の西行とその作品。				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
武蔵野大学
Musashino University

響き合って、未来へ。
MUSASHINO 100 UNIVERSITY 1924 - 2024

武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
TEL：042-468-3222
月~金（祝祭日除く）　9:30~16:30
https://lifelongstudy.musashino-u.ac.jp/
武蔵野大学 生涯学習　検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
（三菱UFJ銀行のビル）

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。